

様式（加速化）第 1－3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	磐梯熱海温泉旅館協同組合	
住所	〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海4-406	
代表者氏名	菅野 豊	
連絡先	TEL 024-984-2182	
構成員	1、浅香荘 2、熱海荘 3、一鳳館 4、金蘭荘 花山 5、紅葉館 きらくや 6、四季彩 一カ 7、清稜山倶楽部 8、菘姫の湯 栄楽館 9、旅籠 松柏 10、八景園 11、富士屋 12、ホテル華の湯 13、健康温泉 水林亭 14、深山荘 15、守田屋 16、山城屋 17、月の庭 18、湯のやど 楽山 19、湯元元湯 20、よもぎ埜 21、旅館 昭月 22、オーベルジュ 鈴鐘 23、小松屋 24、若松屋旅館（構成員24者、内補助対象事業者6者）	
団体事業	具体的な内容	実施せず
	実施時期	
	必要な資金の額及びその調達方法	
個別事業	具体的な内容	1、客室の洋室化 2件 2、トイレの洋室化 1件 3、w i — f i 整備 2件 4、館内多言語表記 2件
	実施時期	平成29年6月1日～平成29年10月31日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計：10,812,200円 補助金合計：4,878,000円

全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	45.4%	51.3%	44.7%
	第2四半期	48.4%	54.0%	45.8%
	第3四半期	51.1%	55.7%	46.8%
	第4四半期	47.1%	53.2%	43.0%
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>年間を通して厳しい数字で推移致しました。</p> <p>要因といたしましては、</p> <p>国内 首都圏からのファミリー層の減少（原発の風評被害） 週末の天候不順 団体企画の減少</p> <p>海外 情報発信不足（2011年の原発事故を払拭できない） 海外キャンペーンの対応遅れ 受け入れ体制の不備（NET・多言語パンフ等）</p>			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	125人	150人	115人
	第2四半期	178人	250人	45人
	第3四半期	131人	225人	106人
	第4四半期	72人	140人	52人
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>ベストシーズンに目標達成ができない状況は深刻であります。</p> <p>原発事故による風評被害が最たる要因であります。この現状での攻めの姿勢が欠如していたと思われま。</p>			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>国内 イベントコンベンション（MICE）の誘致・ベストシーズンの仕掛け等が急がれます。</p> <p>海外 1、正確な情報の発信（海外キャンペーン含む） 2、外客専用NETの整備</p>			

様式（加速化）第1-3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	にかほ市旅館ホテル業組合				
住所	〒018-0107 秋田県にかほ市豪徳町字荒屋下28				
代表者氏名	武田 信二				
連絡先	0184-43-3135				
構成員	Aパターン	<ul style="list-style-type: none"> ① ホテル & コテージ 薄月さび ② カツみ寛洋ホテル ③ ホテルシティパレス ④ 白滝旅館 ⑤ 旅館 清水屋 <p>(構成員5名, うち補助対象事業者4名)</p>			
団体事業	具体的な内容	/			
	実施時期				
	必要な資金の額及びその調達方法				
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備2件 客室の和洋室121件 和洋室改修工事(客室内・客室)2件			
	実施時期	平成29年6月25日～平成29年8月21日			
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 3,710,718円 補助金合計 1,853,000円			
全体稼働率の目標及び実績値	Aパターン		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
		第1四半期 4～6月	31.6 (%)	25.1 (%)	(%)
		第2四半期 7～9月	61.5 (%)	64.3 (%)	(%)
		第3四半期 10～12月	47.8 (%)	55.1 (%)	41.4 (%)
		第4四半期 1～3月	39.0 (%)	41.5 (%)	33.1 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>今年から涼年実績も目標も達成することが出来なかった。 個別では実績も目標もクリアした施設もあるが、1車冬場に積極的な営業しなかった施設があり数字を引下げた。 さらに今年の冬はとにかく寒く旅行者が少なかった。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値 Aパターン</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
<p>第1四半期 4~6月</p>	<p>10 (人)</p>	<p>15 (人)</p>	<p>(人)</p>	<p>(人)</p>
<p>第2四半期 7~9月</p>	<p>13 (人)</p>	<p>19 (人)</p>	<p>(人)</p>	<p>(人)</p>
<p>第3四半期 10~12月</p>	<p>4 (人)</p>	<p>10 (人)</p>	<p>133 (人)</p>	<p>(人)</p>
<p>第4四半期 1~3月</p>	<p>3 (人)</p>	<p>5 (人)</p>	<p>99 (人)</p>	<p>(人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>ビジネス関係の施設での外国人作業員(パスポート確認済) " " の台湾の石井物産の宿泊があり。 目標は達成したが観光面の宿泊が少なかったが、今後の課題</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>稼働率が下がった分、外国人数が増えたことは良かったが、現状は当地の魅力で訪れやすさ無く企業の都合だ。石壁はWi-Fiや汽室化は外国人のみならず国内の方も好評だが、それはもうあたりまえに</p>			

なっている。知識だけでなく行政・地域の団体と協力して、独自のイノベーションを推して進んでほしい。流暢にかまえている場合となく、2020年オリンピック前の2012年の取組が、とても大切だ。